

令和2年度 学校関係者評価会議結果

I. 令和2年度 学校関係者評価会議

1. 日時 令和3年3月10日(水) 14:15～15:15
2. 場所 長島愛生園総合診療棟 中会議室
3. 出席者

1) 学校関係者評価会議評価委員4名

所属	種別	任期
国立療養所長島愛生園看護師長	園内講師	2019.12.1 ～2021.3.31
国立療養所長島愛生園副看護師長	卒業生6期生	2020.4.1 ～2021.3.31
国立療養所長島愛生園副看護師長	卒業生14期生	2019.12.1 ～2021.3.31
瀬戸内市教育委員会教育委員、 元中学校校長、元特任教授	外部講師	2019.12.1 ～2021.3.31

2) 学校関係者6名

- 長島愛生園附属看護学校 学校長
- 長島愛生園附属看護学校 事務長
- 長島愛生園附属看護学校 教育主事
- 長島愛生園附属看護学校 実習調整者
- 長島愛生園附属看護学校 教官（1年生担任）
- 長島愛生園附属看護学校 教官（2年生担任）

4. 評価内容

令和2年度 学校の教育活動および学校運営に対する実施状況

5. 評価資料

1) 教育活動に関する事項

- (1) 各年度の教育計画に関する事項（学校概況書、学則・細則、学生便覧、シラバス）
- (2) 学生の学修支援に関する事項（各学年年間計画、国家試験対策、技術演習）

2) 学校運営に関する事項

- (1) 自己点検・自己評価の結果（令和2年度自己評価、自己点検結果）
- (2) 学生カリキュラム評価（令和2年度卒業生・1年生）

II. 学校関係者評価会議評価委員による主な意見、課題

1) 教育活動に関する事項

- (1) 各年度の教育計画に関する事項（学校概況書、学則・細則、学生便覧、シラバス）

全体的によく整えられている。これらに基づいて円滑に学校が運営できているのであれば手直しの必要はない。今年度に取り組んだ感染症対応について学生便覧などに記載がない。

次年度以降はどこかでふれておく必要がある。オンライン授業については、学生の意見では「分かりにくい」「質問しにくい」の意見がある。講師が学生の反応を捉え、双方向での講義になるように工夫が必要になる。

(2) 学生の学修支援に関する事項（各学年年間計画、国家試験対策、技術演習）

小規模校の良さを生かした、個に応じたきめ細かい指導がなされている。教育目標として社会人基礎力の育成に重点をおいている。入学直後、1年生学年末、2年生学年末に縦断的に調査を実施することで本校の教育の成果の一面を客観的に測ることができるのではないかと考える。

2) 学校運営に関する事項

(1) 自己評価・自己点検結果について

【Ⅱ教育課程編成】〔1-5 学生の成長について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成している〕が評価点4→3になっている。4の評価で良い。

【Ⅱ教育課程編成】〔4-2 学生に対する安全教育・安全対策を計画に行っている〕は3の評価であるが、4で良い。学校教育でいう「安全教育」は感染症に関する教育も含む。今年度は感染症対策を徹底して学校運営を行っている。

【Ⅵ卒業・就職・進学】3-1.3-2.4-1については同窓会の協力を得るなど卒業生の状況把握ができると良い。卒業生の状況については、当園に就職したが1年で離職となるケースもある。学校側が卒業生の状況の情報を早めに得るように関わり、離職防止できると良い。

(2) 卒業生カリキュラム評価について

得点を見ると3.3→3.5になっている。サイン検定では統計的な有意差はない。標本が小さいから仕方がないが、数字が3.3から3.5になっているのは事実である。十分満足して良いと考える。

【取り組む課題】

- 1) 卒業生について、半年後を目安に個人に手紙を送り、学校が相談できる環境であることを伝えていく。特に、母体病院や中国四国グループの独立行政法人国立病院機構病院に就職している卒業生に関しては、会議などを通じて情報収集を行い、必要時状況にあわせたサポートを行っていく。また、情報収集の内容を教員会議で共有し、学校運営や教育に活かしていく。
- 2) オンライン授業については、学生の反応を捉え双方向での講義になるように授業の工夫をする。外部講師に協力を得る。令和2年度予算にて各教室のWifi設備やオンライン機器の更新を行い、学習環境の整備をした。令和3年度にその活用状況を確認していく。
- 3) 令和2年度に取り組んだ感染症対応について学生便覧などに記載して明示することで学生に感染予防対策を周知していく。